

## 令和5年度 第5回広陵町定例教育委員会 会議

### ○ 開会及び閉会

令和5年8月28日(月) 午後 3時00分開会  
同日 午後 4時29分閉会

開催場所： 広陵町役場 3階 大会議室

### ○ 出席委員の議席番号、職名及び氏名

(教育長) 植村佳央、 1番委員：(教育長職務代理者) 松井秀史、  
2番委員：奥田俊詞、 3番委員：白井 有香

### 委員の他、会議に出席した者の職名及び氏名

教育委員会事務局教育振興部長	村井 篤史
教育総務課長	福田 順子
学校支援課長	池端 徳隆
けんこう福祉課こども局	谷野 良隆
こども課長	佐々木 計也
図書館長	尾藤 肇子
スポーツ振興課長	坪水 裕子
広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会課長補佐	南 雄太郎
教育総務課指導主事	小峠 博幸
教育総務課指導主事	瀧田 健二
学校支援課指導主事	阪口 妙子
学校支援課指導主事	福井 康博

## 4 議案 (1) 令和4年度 事務事業点検評価報告書について

○教育長 それでは議案に移らせていただきます。

まず1つ目でございます。令和4年度事務事業点検評価報告書について、別紙がございます。これにつきましては、課長からよろしくお願ひします。

○教育総務課長 令和4年度事務事業点検評価報告書について、説明をさせていただきます。

こちらは、8月7日の臨時教育委員会で説明なくお渡しさせていただいて、何かご意見があればということで伺っておりました。ご意見なく終わりました、これを第3回定例議会に提出をさせていただくものとなっております。私から一度目を通していただいているということで、軽く説明をさせていただければと思います。

まず表紙めくっていただいで、もう1枚めくっていただいたところに、左手の方に「令和4年度事務事業点検評価報告書【総括表】(教育委員会)」とさせていただきます。こちらですが、先ほどの会議にありましたように、教育振興基本計画にのっとりた教育理念、そして基本方針を、1、2、3と掲げさせていただきます。令和4年度の点検評価となりますので、令和4年度の重点目標として、広陵町の主要事業、教育委員会における主要事業を列記させていただきます。

次のページは、令和4年度の教育委員会の活動状況として、令和4年度開催させていただいた教育委員会活動を、列記させていただきます。

そして1ページということで、令和4年度の事務事業点検評価報告書というものを、今回様式を一新させていただきます。教育振興基本計画にのっとりた点検をするということで、様式を変えさせていただきます。

基本政策1、2、3、4と4つあるものを重点的に点検させていただいております。

まず1ページは、基本政策(1)「何事にもチャレンジし、輝く未来を切り拓く力を育む学校教育の充実」ということで、点検をさせていただいております。その右側に、自己評価基準ABCDEとありますが、これが今まで自己評価というのを、曖昧といえれば曖昧な形で評価していたものを、目標値に対してどれだけ達成できているかというのを、明確にさせていただきました。

例えば図書館であれば、乳幼児期から本と関わりを持つ機会を提供できているかに対して、具体的目標は、図書館における読み聞かせやおはなし会などの参加人数、これの目標値が1,380人と掲げさせていただいております。

それに対して、実績値は令和4年度は2,111人ですので、自己評価はAとさせていただいております。

こちらの目標値に対しての実績値ですが、実は教育振興基本計画の検証では、令和4年度の末に行っておりますので、令和4年度の数値というのは取り切れてなくて、会議をさせていただいたときは違う数値が入っているものがあるんですが、今回は令和4年度の本当の実績値が分かっておりますので、記させていただいております。

続いて自己評価の下です。こちら達成状況の分析といたしまして、外部環境要因と内部環境要因、2つの視点から分析をさせていただきました。そしてその下には、令和4年度に実施した事業及び今後の取組として、令和4年度に実施した事業内容と、令和5年度以降に実施すべき内容という項目に分けさせていただいております。その下が、関係者評価ということで、入れさせていただいたものです。

教育振興基本計画の実施状況のときには、重点目標がございましたので、目標に従ってPDCAサイクルで検証させていただいたのですが、今回令和4年度の事務事業点検評価というのに当たって、この項目だけではちょっと不十分なところがあるということで、目標値を新たに加えさせていただいているものがあります。

例えばその下です。こども課から、「未就園児に対する子育て支援事業が提供できているか」に対して、一時預かり事業、一時保育の利用件数というのも加えさせていただきました。

こども課で目標値を設定し、策定し、令和3年度の件数と令和4年度の件数に対して、自己評価をさせていただいております。

このように、基本政策(1)では、1ページから14ページまで書かせていただいております。かなりボリューム的に大きくなっております。

引き続きまして、基本政策(2)です。「学びを支える場づくりと、誰一人も取り残さない、支え合いの場づくり」ということでこちら書かせていただいております。

こちら、独自指標として幾つか入れさせていただいた上で、点検評価をさせていただきました。

続いて21ページからが基本政策(3)、そして最後29ページが基本政策(4)ということで、少し基本施策(4)はボリュームが少ないのですが、このようにして、令和4年度の事務事業点検評価報告書を作成させていただきました。簡単ですが、説明は以上となります。

**○教育長** ありがとうございます。今説明を聞いていただいて、何かご質問またはご意見等がございましたら、よろしくお願ひします。どうでしょうか。

8月7日に持って帰っていただいて、目を通していただいたかと思ひます。これまでの事業点検評価報告とは、大きく様式を変えた状況がござひます。先ほど課長から話ありましたが、教育振興基本計画を基にした形になっております。

その辺で、何か気づかれた点がございましたら、またご意見いただけたらと思ひますが、どうでしょうか。D委員さん。

**○D委員** 見てて、私がB中学校のPTA会長をしたときに、残食率が高いっていうので、すごく意見が多かったです。これ読んでたら、何かA中学校の残食率が高いとなっていて、私が聞いてた話とちょっと違うなと思ひて、状況が変わってるのかなっていうのが気になったんですが、何か理由があるんでしょうか。違うんですかね、私の情報が間違ってた。

**○教育長** 平成28年の9月から給食の提供となりました。その後、A中学校の残食率が高くて、

年2回センターの運営委員会があるのですが、そこでいろいろ説明されて、特に香芝市内の4つの中学校が、広陵町よりかなり低いのです、残食率が。広陵町が高いのです。そのことで、毎回つらい思いをしてるのですが、今はかなり下がってきてます。

私はいつも言わせていただいているのですが、中学校の残食率は、大体全国でいえば10%前後はあるのです。そして、ようやく今は全体としては、2桁を切りました。

ただ、まだ若干A中学校は高い部分があるのですが、以前に比べて大分低くなったのです。その辺はご理解いただけたらと思うので、結構センターのほうでも頑張ってもらっているし、いわゆる食育の関係で、栄養教諭の先生がいろいろ指導していただいたりとかしてまして、かなり下がってきたことは事実なのです。

**○教育総務課長** ご指摘のとおりA中学校とB中学校を合わせると、12.4、その前が15.2ですので、少し減ってはいますが、香芝がかなり低いので、8%ぐらいに今落ち着いているのかなと思います。

A中学校で、コロナのことがあって、おかわりなどをさせていなかったというようなことも聞いておりますので、これからおかわりなどをして、減らしていくということも聞いてますので、もう1年様子を見たいと思っております。

**○教育長** 中学校給食センター協議会課長補佐、何かあったら補足、よろしくお願いします。

**○中学校給食センター協議会課長補佐** 先日、7月7日に教育委員さん、小学校と中学校と、給食を比べていただいたと思うんです。そのときの残食率を補足させていただこうかと思っております。

中学校ですが、当日はご飯とキス天のお茶揚げ、それから七夕そうめん、七色お和えというのをご試食していただいたかと思います。全体的にですが、七色お和えにつきましてはちょっと高かったんですよ、実を言いますと。6校合わせまして、29.3%の残食が出て。七夕そうめん、こちらにつきましては6校で9.3%、それからキス天のお茶揚げにつきましては、2.6%の残食率でございます。

ちなみに広陵町を比較すると、かなり悪い数字では出てるんですが、ご報告をさせていただきたいと思いますが、まずA中学校ですが、キス天お茶揚げにつきましては、5.3%、それからB中学校、こちらにつきましては5.8%でございます。七夕そうめん、こちらはA中学校で20.1%、B中学校は結構よくて、10.2%でございます。

最後なんですけど、七色お和え、こちらにつきましては、報告するのは苦しいところがございますが、A中学校45.8%の残食率でございます。

**○教育長** うわあ、すごいなあ。

**○中学校給食センター協議会課長補佐** ところが、B中学校のほうが高くて、この日は52.1%ということで、実を言いますと今年度一番ワースト1位というのが、この七色お和えの残食率となってございます。

中学生の好み等もございしますが、センターといたしましては、味つけ等に工夫させていただいて、給食を提供させていただいております。

ちなみに一番よかった香芝のC中学校、七夕そうめんにつきましては1.9%と、かなりA中学校の20.1%と比べますと、差があるというのが現状でございます。

七色お和えにつきましては、一番よかった中学校はC中学校で、10.5%ということで、かなり好みについてはどうなのでしょう。かなり差があるのかなと私自身は思っているところでございます。以上です。

**○教育長** ありがとうございます。

**○D委員** 50%を超えてるってことは、残ったものじゃなくって、配られたものも残されているということですね。違うんですかね。

**○教育長** 残食ですので、とりあえず配られますよね。食缶から全部配りますよね。配ったのだが、食べないからそのまま食缶に戻します。その量だと思えます。それが50%超えてるということは、ほとんど食べてないということ。半分以上食べてないということになりますよね。

**○D委員** そんなことがあるんですね。何か根本、もったいないとか、出されたものはいただく

っていうところが抜けてるような気がします。

○**学校支援課長** 副食で、そういうあえものとかいうのが、やっぱりどこの学校も、一番残食として残るんですね。

○**D委員** それは人気ない。

○**学校支援課長** どうしても広陵町のほうが、香芝と比べましたら、いろんなものもやっぱり食べてもらわないとだめだというように、先生の取組、学校長等にしっかりと責任を持っていただいて、食育の観点からも取組はしてるんですが。

栄養教諭が行って、しっかりと話をさせていただいたときには、食缶はもうほとんど残食がないということは、ふだん「しっかり食べや」って言ってないのかということになるんですが、なかなかオーガニックの野菜を、金額も高いんですが、取組として入れてもね、大人のやっぱり食味と違うのかどうか分かりませんが、おいしくないということで、やっぱり食べてくれないんです。その辺、栄養教諭も頑張ってくれてると思うんですが、この残食は課題ですね。

○**D委員** もう幼稚園から好き嫌いしないと教わってるんじゃないのかなっていう、疑問はすごく残りますけどね。私としては。

○**学校支援課長** 要らんかったら食べるなって言うみたいです。

○**D委員** いや、そういう、家庭でそう言ってるところが多いという実態なのかなってちょっと思ったり。

○**学校支援課長** 要らんかったら食べない。食べさせない。

○**D委員** いやいや、好き嫌いを言わせてることになるのかなあって、ちょっと心配で。

○**事務局教育振興部長** やっぱりミョウガが入ってたのが。

○**D委員** ミョウガは確かに大人向けですが。

○**事務局教育振興部長** いろいろね、考えて入れてくれたと思うんですが。

○**D委員** それでも、少なかったじゃないですか、量からすると。1人当たり。

○**D委員** だから、ちょっと気に入らなくても、出されたら食べるっていうことが大事なんじゃないかって。これ家庭の問題かな。分からないんですが。

○**事務局教育振興部長** まあ学校の問題でもあります。

○**D委員** すみません、以上です。

○**教育長** ありがとうございます。本当に毎回この残食率については議論してるのです。まあかつてのことを思ったら、全体通しては、年間の最終残食率で比較してますが、それは明らかに右肩下がりになっております。それはありがたいのですが、今、中学校給食センター協議会課長補佐の方から説明があったように、私たちが試食したときが一番残食が多かったということです。七夕に合わせた献立だったのに、ちょっと残念には思いますが、やはりそこも先生方の指導が大事かなとか、それとともに、今の家庭での食育っていうのもすごく大事なと思います。今やはり外食でもそうだけでも、結構味が濃い。そして、家庭によれば好き嫌いが激しくて、偏った食生活してますから、それはやはりセンターとしては、できる限り、いろんなメニューを考えていただいて、提供していただいています。新たなメニューもいっぱい考えていただいているのです。いわゆる食べず嫌いになってる部分があるのでね、そこは将来的には、そういったいろんなものを食べてもらうことが、子どもにとって大事ですので、そのことを含めて、やはり残食率はちょっとでも少なくしたいというのは、本当に私はもういつも常々報告を受けて、心痛めてるんです。広陵町があまりにも高いのでね。だからその辺はまた、できるだけ頑張らせていただきます。

○**D委員** はい。気になったのはそこです。ありがとうございます。

○**教育長** ほか、ございませんでしょうか。それでは、1つ目終わらせていただきます。

続いて2つ目でございます。後援名義の使用許可申請につきまして、「ZEROからはじめよう」について、まず31ページをご参照ください。よろしく申し上げます。教育総務課指導主事、よろしく申し上げます。

#### 4 議案 (2) 後援名義使用許可申請について(「ZEROからはじめよう」)

**○教育総務課指導主事** 失礼します、NPO法人のT e e dより、後援名義の使用申請書が出ております。事業の名称は「ZEROからはじめよう」、開催日は令和5年11月4日です。開催場所はT e e dコミュニティということで、香芝市真美ヶ丘1-15-15となっています。

事業の目的は、学校へ行きづらい子どもたちと保護者が、地域の支援団体を知ること。また、参加者同士の交流の場づくりが目的となっております。

使用を受ける理由として、広く広報したいため、チラシの配布を希望されておられます。

その他、依頼先としましては、香芝市、大和高田市、奈良県社会福祉協議会となっております。

7番に、参加者等という文言ありますが、参加費は300円ということに今回なっております。それは保険代などに充てるということです。定員は50名です。

8番の添付書類のところに、32ページから順番につけてあります。実施計画書、会計予算、プログラム等は、32ページ。33、34に役員名簿等、それから35ページに昨年度のチラシをつけています。32ページをめくっていただいて、実施計画書は先ほど目標を言いましたが、参加団体等も書かれています。予算については、書かれています。変わった点だけ言います。

プログラムですが、ボードゲーム、曼茶羅絵のワークショップ、陶芸の絵付け体験コラージュで色紙作り、オイルハンドマッサージ、手話教室という、何かコーナーを設けて、今回は、そこに親と行くということです。

今回は、参加費は上に書いていますように、収入のところに300円×50名と書いてます。先ほど言いました保険代ということで、このプログラムに書いてあるコーナーに行くと、それぞれ値段が違うみたいです。お金を出すということを言っておられました。最高で500円ぐらいとお聞きしました。今年はそのような計画でやっておられます。

33、34ページは見えていただいて、35ページが昨年度の行われたもので、去年同じようにこれを提案したときに、3,500円ということですのですごく高いなというお話があったかなと覚えておりますが、今回やり方を変えましたということで、報告を受けています。

以上です。ご審議よろしく申し上げます。

**○教育長** ありがとうございます。今、説明を聞いていただいて、何かご意見、ご質問等がございましたら、よろしく申し上げます。

ここ4、5年はずっとこういう形で、T e e dの方が後援名義を依頼されております。今回は、若干今までと違った形ということになっておりますので、ご理解いただけたらと思っております。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、「ZEROからはじめよう」について、ご承認をいただいたと思えます。

続いて別紙になります。「第6回農フェス～農業がつなぐ食・動・心・学～」について、一般社団法人のかまどんクラブのほうから出ております。これも教育総務課指導主事、よろしく申し上げます。

#### 4 議案 (2) 後援名義使用許可申請について(「第6回農フェス～農業がつなぐ食・動・心・学

～」)

**○教育総務課指導主事** 一般社団法人のかまどんクラブです。後援名義使用申請ということで、事業の名称は、今ご紹介あった「第6回農フェス～農業がつなぐ食・動・心・学～」です。開催日ですが、2023年10月28日土曜日、開催場所は御所市多田、吐田米生産農地となっております。

事業の目的ですが、農業体験等を通じて、地域社会と個人のつながりを高め、郷土愛を醸成することです。使用名義を受ける理由は、チラシ配布のためということ です。

その他の依頼先としましては、御所市、大和高田市、香芝市、葛城市、教育委員会、奈良県PTA協議会となっております。

参加費は無料です。ただし昼食代として、2,000円を徴収と書かれています。

添付書類といたしましては、1番の事業計画書、実施要項、予算書、配布チラシをつけさせていただきます。事業計画書の中に、SDGsの目標との関連についても説明されておられます。

あと、前回の開催状況の写真等が掲載された、第5回の実施報告書につきましてはいただいておりますが、かなりたくさんありますので、添付しておりません。別途いただいております。またご覧になりたいときは、言っていただけたらと思います。

昨年度は申請いただいて、許可はいたしております。今回もご審議、よろしく願います。

**○教育長** ありがとうございます。今聞いていただいた中で、ご質問、またはご意見等がございましたら、よろしく願います。どうでしょうか。

まずこの10月28日というのは、西小と真美ヶ丘第一小学校の運動会、体育大会に重なってます。若干だから、子どもたちは参加が少なくなるのかなとは思っているのですが。とりあえずこういう日程ですので、チラシだけは配付させてもらおうと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

これも昨年もありましたよね。この御所市の吐田米って割と有名です。おいしいお米いうので有名なんです。吐田米、吐田米ってよく聞きますけど。

**○教育総務課指導主事** 昨年度、広陵町からは応募数33名ということで、報告されています。合計183名のうちの33名ということになります。

**○教育長** ありがとうございます。私はこういう社会体験とか、いろんな体験は、子どもたちにしてほしいないつも思っております。こんな中でまた、例えば多分恐らくこれは農業がつなぐということになるので、農業に興味持ってもらえたらなと思いますので、そういう意味ではいい取組かなと思います。これについて何かよろしいでしょうか。ご承認いただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、後援名義、「第6回農フェス」についても承認をいただいたということで、よろしく願います。